

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	和歌山市立雑賀小学校
授業者	藪 隆政

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

私たちの大好きな日本遺産「和歌の浦」を守り続けるために・・・  
～和歌の浦の良さを知り、みんなに広めよう！～

#### 1-2. 学年

6年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

「総合的な学習の時間」、「国語」、「社会」、「道徳」、「特別活動」、「図工」

#### 1-4. 単元の概要

この単元では、まず身近な和歌浦という場所について知ること、つまり「自分たちの地域の和歌浦が日本遺産に認定されていること」を知る活動からスタートする。まず和歌浦には史跡などの歴史的な価値があるものが多いことや自然の景色がとてもきれいなところであることを知ること、もっとみんなに和歌浦を知ってもらいたいという気持ちを引き出す。そして、和歌浦がもつ魅力は、史跡だけでなく、まちの誇りである“聖武天皇の好んだとされる干潟の景色”などにもあることに気付かせる。そこを切り口に、海の学習を深めていく。

加えて、“親しむ”をテーマに、「海で働く漁師さんの仕事見学」や「釣り」、「干潟観察」、「遊覧船乗船」などの活動を重ねて、自分たちの地元の海を好きになるような授業や体験を行う。そこでは、海とともに生活する人や海を守ろうとする人と関わりながら、様々な人の和歌浦の海に対する思いを肌で感じられるようにしていく。そして、「こんな素敵な海を守っていかないといけない」「和歌浦の海は自分の地元の誇りだから、もっとみんなに知ってもらえるようにしたい」というような思いを引き出す。

次に、“知る”をテーマに、外部講師を招き、海のもつ魅力や不思議をクイズや実験を通して伝えていただく。海の満ち引きが起こる原因や、水温や塩分によって海中に層ができること、海に生息する生き物の不思議な行動などについても教えていただく。また、干潟観察にも帯同していただき、生き物を一緒に観察してもらうことで、子供たちの海に対する興味をより一層引き出す。この際、和歌浦と同じく水産業が盛んで自然環境や歴史を生かした観光で町づくりを進める。加太を見学することで、そこと比較して和歌浦の海独自の魅力を実感させることも考える。さらに加太見学を通して、友ヶ島には、漂流してきたゴミがとても多いこと、海の生き物がゴミによる被害を受けていることを知る。そこで、外部講師を招いての出前授業も何度も行って、海に対する愛着やさらなる疑問を引き出していく。子供たちは、何度も外部講師と関わる中で、人柄や仕事の内容にも興味を持ち、外部講師の仕事や思いを知ることを通して、さらに海について深く学ぼうとする姿勢を持つであろう。そのような学習を通して、今海で問題となっていることや、自分たちが解決しないといけないことなどを知り、海の環境保全を自分事としてとらえ、「何とかしないといけない」という

思いが出てくることを願う。そして「知る」の集大成として、長年、和歌浦の清掃活動をされている渋谷さんに出会い、清掃活動を続けている理由や願いを知ること、自分たちの周りにもまちや海をきれいにし続けている人がいることを感じ取らせたい。

最後に“伝える”をテーマに、今まで学習してきた経験をもとに、自分たちができることを考えさせる。そこでは、「いろいろな人に伝えたい！」という意見が出てくるであろう。「誰に何を伝えるのか？」を考えることで、自分たちが学んできたことを具体的に振り返ることができる。様々な外部講師の方々から教わったコツを元に「自分たちが本当に伝えたいことは何で、それを伝えるためにはどうすればより相手に伝わりやすいのか？」等を自分たちなりに考え、必要な情報をまとめながらポスター作成を行う。そうすることで、これまで関わっていただいた多くの方々の思いを知ったように、自分たちの思いを他者に発信し、伝えることの難しさと大切さを感じてもらいたい。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本プログラムにおいて、和歌の浦の海を題材にし、「親しむ」、「知る」、「伝える」の各テーマに沿って、地域の方や外部講師とともに、学習を進める。普段目にしていない海を学習材とすることで、自分事として考え、海とともに生きる意識や態度を育成する。さらに、“日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦”の魅力を発信していき、地域課題を地域とともに解決していき、人材を育成することを目的とする。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・「海」を視点として、様々な問題状況の中から、課題を発見・設定することができる。
- ・和歌浦や加太には、海の自然を生かした様々な良さがあることを見つけることができる。
- ・和歌浦の課題や良さを見つけるために、他地域と和歌浦を比較することができる。
- ・地域での活動やお話を聞くことを通し、働く人の思いについて考えを深めることができる。
- ・地域と自分との関わりを踏まえて、自己の生き方について考えることができる。

1-7. 単元の展開（全80時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
第1次 12時間	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」ってどんなところなのか調べよう！</p> <p>①「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」の町を見学する。</p> <p>②なぜ和歌浦が日本遺産に選ばれたのか、和歌山市役所の方に話を聞く。</p> <p>③和歌浦の歴史について、現地を回りながら紹介してもらおう。</p> <p>④和歌祭について教えてもらう。</p> <p>⑤「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」の海（蓬莱岩、片男波、和歌浦干潟を見に行く。 ※和歌浦の素敵な景色には、和歌浦の海も含まれていることに気づく。</p>	<p>&lt;ゲストティーチャー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市文化振興課 富永里菜さん</li> <li>・和歌山市都市再生課 堀口広平さん</li> <li>・和歌山市立博物館学芸員 額田雅裕さん</li> <li>・和歌祭 四百年祭 実行委員長 中山勝裕さん</li> <li>・和歌祭 実行委員会顧問 保井元吾さん</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動やお話を聞くを通し、働く人の思いについて考えを深めることができる。(発言・ノート)</li> </ul>
		
第2次 12時間	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」の海についてもっと知ろう！</p> <p>①遊覧船にのり、和歌浦湾をまわる。</p> <p>②和歌浦漁港で釣りをする。</p> <p>③和歌浦のしらす加工場を見学する。</p> <p>④和歌浦湾でとれる「わかしらす」を食べたり、話を聞いたりする。</p> <p>⑤和歌浦干潟にいる生き物の観察をする。</p> <p>⑥和歌浦の海の高さについて話を聞く。</p> <p>⑦「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」の魅力は何かについて話し合う。</p>	<p>&lt;ゲストティーチャー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やぶ新 和歌浦漁業組合副組合長 横田邦雄さん</li> <li>・和歌山県環境学習アドバイザー 平井研さん</li> </ul> <p>&lt;教師の指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学後の話し合いでは、自分が体験してどう思ったかを発表させる。</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌浦や加太には、海の自然を生かした様々な良さがあることを見つけることができる。(発言・壁新聞)</li> <li>・「海」を視点として、様々な問題状況の中から、課題を発見・設定することができる。(発言・ノート)</li> </ul>
		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第3次 6時間</p>	<p>和歌浦の海と加太の海では違いがあるのか調査しよう！</p>	
	<p>①同じ和歌山市にある日本遺産に認定されている加太の磯にいる生き物を観察する。 ※和歌浦の海の生き物と比較し、それぞれの海の生き物や海での体験のよさなどに気づく。</p> <p>②東京大学の青木先生から加太の海や漁師さんについて話を聞く。</p> <p>③和歌浦や加太に生息する生き物について調べ、また、身近でも海の生き物がゴミで被害を受けていることを知る。</p>	<p>&lt;ゲストティーチャー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県環境学習アドバイザー 平井研さん</li> <li>・東京大学 特任助教授 青木佳子さん</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青木先生や平井先生の活動やお話を聞き、質問したり、感想を発言したりすることができる。(発言・ノート)</li> <li>・「海」を視点として、様々な問題状況の中から、課題を発見・設定することができる。(発言・ノート)</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第4次 14時間</p>	<p>加太の友ヶ島のゴミを調べよう！</p>	
	<p>①加太の友ヶ島に漂流しているゴミを調査研究している「加太・友ヶ島環境戦略研究会」の話の聞いたり、一緒にゴミ調査を行う。</p> <p>②自分たちだけで、ゴミ調査をしたり、ゴミ拾いをしたりする。</p> <p>③拾ってきたゴミを分別し、結果をまとめる。</p> <p>④加太の友ヶ島でのゴミ調査をしてみてもったことについて話し合う。 ※話し合いの途中で子供から出た「海のゴミ問題を解決することは不可能だと思う」という発言について、みんなで考える。</p> <p>⑤「海のゴミ問題を解決するのは難しいのに、なぜ平井先生や千葉先生はそれでも頑張っているのか？」について考え、話し合う。</p> <p>⑥「どうすれば、千葉先生がいう『ゴミの蛇口を止めること』ができるのかな？」について考え、話し合う。</p> <p>⑦「和歌浦や加太も日本遺産であり続けられるのか」について話し合う。</p>	<p>&lt;ゲストティーチャー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県環境学習アドバイザー 平井研さん</li> <li>・大阪府立大学准教授 千葉知世さん</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌浦の課題や良さを見つけるために、加太と和歌浦を比較することができる。(ノート・発言)</li> <li>・「海」を視点として、様々な問題状況の中から、課題を発見・設定することができる。(発言・ノート)</li> </ul>







自分たちが調べている和歌浦でもゴミが多いのか調べよう！

- ①和歌浦の海岸のゴミ調査をする。
- ②和歌浦でボランティア清掃を続けている人に話をきこう。
- ③「なぜ渋谷さんはボランティア掃除を続けているのか？」について考え、話し合う。
- ④渋谷さんたちや他の学年の子と一緒に和歌浦のミ拾いをしよう。

<ゲストティーチャー>

・NPO法人 和歌の浦  
自然・歴史・文化支援機構副理事長 渋谷高秀さん

<主な評価>

・和歌浦という場所は綺麗な場所なのかを考えるために、友ヶ島でのごみ調査と比較することができる。(ノート・発言)

第5  
次  
7  
時  
間



「日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦」のまちや海の良さを伝えよう！

- ①宇和さんから話す技やコツを学ぶ！
- ②中山さんから写真の撮り方の技やコツを学ぶ！
- ③木川先生からポスターの作り方の技やコツを

<ゲストティーチャー>

・和歌山県環境学習アドバイザー 平井研さん

・NPO法人わかやま環境ネットワーク

事務局長 臼井達也さん



<p>第 6 次 時 間</p>	<p>学ぶ！～ポスター編～</p> <p>④「おもしろ環境まつり」で発表する準備をする。</p> <p>⑤「おもしろ環境まつり」で発表する。</p> <p>⑥「ポスターで何を伝えたらいいのかな？」について話し合う。</p> <p>⑦ポスターを作ってみる。</p> <p>⑧木川先生に自分たちの考えたポスターについてアドバイスをもらう。</p> <p>⑨アドバイスをもとに、ポスターの修正をする。</p> <p>⑩他校の子と学んできたことをオンラインで交流しよう！</p> <p>※東京大学道田先生の話聞こう！</p> <p>⑪「海洋サミット」で発表する準備をしよう！</p> <p>⑫「海洋サミット」で自分たちが伝えたいことを発表する。</p> <p>⑬実際に完成したポスターをはってもらえるように色々な場所をお願いをしに行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアナウンサー 宇和千夏さん</li> <li>・和歌山大学観光学部教授 木川剛志さん</li> <li>・和歌浦の写真家 中山勝裕さん</li> <li>・東京大学教授 道田豊さん</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌浦には、海の自然を生かした様々な良さがあることを再認識することができる。</li> </ul> <p>(成果物・発言・ノート)</p>
<p>第 7 次 時 間</p>	<p>今までの自分たちの学びを振り返ろう！</p> <p>①自分たちの学びを振り返って、自分の変化や成長を書き、交流する。</p>	<p>&lt;教師の支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習が思いさせるように、今までの活動の写真を掲示したり、ノートを見返すように促したりする。</li> </ul> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と自分との関わりを踏まえて、自己の生き方について考えることができる。(ノート)</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 4次14 時間中の 11 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

### 2-2. 本時の目標

加太の友ヶ島のゴミ拾いやゴミ調査をしてわかったことや思ったことの話し合いを通して、ゴミ問題の現実気づくことができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 課題を知る。 「友ヶ島のゴミ調査をしてみて、わかったことや思ったことを話し合おう！」</p> <p>2. 課題について話し合う。 C：ゴミ拾いをしてみると、ペットボトルとプラスチックのゴミが多かった。 C：発泡スチロールは小さすぎてとりにくかった。正直拾いきれなかった。 C：変形した靴やロープやタイヤ、スプレーなど色々なゴミがあったけど、友ヶ島は無人島だから流れてきたものばかりでびっくりした。 C：中国語や韓国語で書かれたペットボトルのゴミもあった。日本だけではどうにもならないと思う。 C：正直、時間もかけてみんなでゴミを拾ったのに、全くきれいにならなかった。これをきれいにするのは不可能だと思う。</p> <p>3. 話し合いの途中で子供から出た「海のゴミ問題を解決することは不可能だと思う」という発言について、みんなで考え、話し合う。 C：全然きれいになってない。だって、やる前と変わってなかったから。 C：発泡スチロールとかの小さいゴミがいっぱいあって、全然取りきれない。 C：友ヶ島のこのゾーンだけでも、ゴミを0にしようと思えば、今日の10倍の時間以上はかかる。 C：たとえ、全部拾っても他の場所もあるからやっぱ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体験したことや思ったことをしっかり言えるように、声かけをする。</li> <li>・写真を黒板に掲示したり、周りの子に問いかけたりして、一人一人の意見が周りの子と共有できるように支援する。</li> <li>・子供から出た疑問や対立意見から、話し合いを深めるようにする。</li> </ul>





### 3. 今回の活動の自己評価

この学習の中で、様々な体験活動をしたり、多くの専門家に話を聞いたり、体験活動を行ったりしたことで、多くの子供たちの中に価値のある学習があった。1年間の学習を通して、個々の成長や変容が見られた。子供たちの振り返り作文や授業中の発言から

- ・「今まで僕はゴミが落ちていても何も気にしていなかったけど、この学習で海のゴミが減らすことが難しいことを知った後、ゴミのポイ捨てをなくそうという思いが出てきた。」  
→これから自分自身の普段の生活を見直そうとしている。
  - ・「私は発表が苦手で、発表をしたとしても、簡単なことしか言えなかったけど、たくさんを経験してきたから、みんなに言いたい気持ちが出てきたし、わかってほしいと思って話していたら、後で先生に褒められたけど、結構長く話していたみたいで、とても自信がついた。」  
→発表しても簡単なことしか言えなかった子が、直接多くの専門家の話を聞いたり、実際に体験したりしたことで、その時に得た知識を自分の言葉でしっかりと伝えたり、自分の思いを1分以上も話すことができ、とても自信がついて、それ以降の時間でも、自分の思いを話すことができている。
  - ・「みんなが思っている以上に人はプラごみのことを考えていると思う。自分ら以外にもゴミ拾いをしている人もいてたし、帰り際に若いカップルの人が「ゴミ拾いをしてくれたんや。ありがとう。」って小さい声で言っていた。自分たちがしていることは間違いではないと思った。だから、自分たちがやっていることは正しくて、伝えたいと思っていることを大人も聞いてくれる人がいるはずやから、そんなに高い壁でないから協力してもらえるとと思う。」  
→「ゴミ問題をどうしたら減らすことができるのか」「本当にゴミを減らすことができるのか」などの海の問題に対して、自分事のように何とかして減らそうと本気で考える子が出てきた。
  - ・「TさんやKさんが『これからどうするかどうかを話す前に、自分たちが集めてきたゴミを分類した結果から考えないと何も始まらないと思う』と言っていたんだけど、確かに僕もそうだなと思うし、自分もこれからは結果から考えるようにしていきたい。」  
→友達発言から自分の見方・考え方が変わった。
  - ・「僕は、最初、和歌浦に対して「何も興味もないし、好きでもない」と答えていたけど、見学に行ったり、いろんな人の話を聞いていくうちに、こんなにいいところなんだとわかった。」
  - ・「私は、今まで海が好きじゃなくて、むしろ嫌いでした。なぜかという、今までいいイメージがなかったからです。でも、遊覧船にのったり、干潟観察をしたりして、だんだん変わってきました。こんなに海って素敵なんだなって総合の授業でわかりました。」
- 学習をスタートする前のアンケートでは、「何も興味もないし、好きでもない」と答えていた子も、単元の終わりに書く振り返り作文で、和歌山市のまちや海が自分の誇りと思ったり、好きになったりしてきている。

この学習を通して、子供たちは、自分たちのまちや海が“誇り”になり、いろんな場面でもこの学習の中で学んだことをいかしている。教室の授業では学べないことをたくさん学んだように思う。

#### 4. 今後の課題

- 海の問題（ゴミ問題）の解決策がなく、子供たちに成果を実感する機会がなかったので、達成感を出すのが難しかった。
- ポスターを作ったり、色々な場所で発表したりしたが、今後は、子供たちが作った成果物やプレゼンが本当に効果的であったのかを考える時間も取り入れたり、色々な人にアンケートを取っても良かったのではないかと反省する。そうすれば、周りから認められることが実感でき、より地域の一員である自覚や、自信を得られたのではないかと考える。  
(たとえば、ポスターをみて共感した人はポスターの下に「いいねカード」をはってもらうコーナーを取り入れるなど、目で見て分かる評価を取り入れるなどしても良かったのではないか。)

#### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。